



公式モバイルサイトのQRコード
 QRコードに対応した携帯電話で読
 み取ると簡単にアクセスできます

池原 昭治

さやまの今本

朝茶は飲んでけ

八十八夜も過ぎ、新茶の香りのする季節になりました。お茶には、各種ビタミンやタンニンなどが豊富に含まれ、健康成分の宝庫といわれています。手を休めたおばあちゃんがお茶を飲みながら「昔、ある男が朝早く山へ木を伐りだしに出かけました。さて、仕事にかかる



うとしたときです。何処からともなく美しい



娘が現れまして、木の周りをグルグル歩き始めました。そして男の仕事が終るころ、何処かへ消えるようにいなくなりました。そんなことが三日も続き、四日目のことです。その日に限って男はいつもより遅くなって山に入りました。するといつもの娘がやってきて男に尋ねたそうです。「もし、今日はどうして遅くなったのですか」「いやー、今日は朝茶を飲んでおつたので遅くなったのじゃ」と答えました。これを聞いた娘は「真っ青になり逃げていったそうです。実は娘は山奥に棲む大蛇で、男が、口ごもって『茶』を『じゃ』と言ったのを『蛇』と勘違いしたからでした」これから、朝茶は魔よけになるから飲んでいけ」といわれるようになったそうです。

市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

- | | |
|----------------|-------|
| 何時からを余命と言ふや春霞 | 立花孝治 |
| 親待ちて鳴くだけのこと雀の巣 | 内田 光子 |
| 後継が父の鋤にて春耕す | 志村 直路 |
| 百歳を目指す余命や花を詠み | 佐々木安沙 |
| 耕しは息子にまかせ籠りけり | 今坂清子 |
| 山間の風穏やかに春の耕 | 渋谷みつ子 |
| 明朗に八十路は余命百千鳥 | 古谷信太郎 |

編集後記



この時期、市役所も人事異動で新しい顔が目立ちます。3月まで自治会役員として広報

さやまを配っていた自分が、なんと作る側になるうとは。これまで真剣に紙面を読んだらうかと反省しつつも、今まで気にならなかった町中の広告へ目が向いたり、何気なく見ている雑誌も、作り手の視点で読んでみたり、新たな感覚がわいてきます。初取材した小学校の入学式。希望に満ちた子ども達の門出を見て、感激もひとしおでした。市民の皆さんと心と心が通い合う広報紙を目標に、これから頑張っていきたいと思えます。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。
 締切り5月31日(木・当日消印有効)

4月号の答え

15ページ・ひとまち写真館の「入間川のさかな展」の写真でした。



👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	5月1日現在。(内は前月比)
住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 79,755人(+42人)	928人(+10人)
女 77,301人(-5人)	1,170人(+11人)
合計 157,056人(+37人)	2,098人(+21人)
世帯 62,860世帯(+178世帯)	1,525世帯(+17世帯)

4月の火災・救急件数(消防本部)
 火災件数 0件
 救急出動件数 462件(搬送人員434人)